

はじめに

本書は、平成一六・一七年度の総長裁量経費プロジェクト「京都大学における「学徒出陣」についての調査研究」の成果報告書です。

本書は、第二次世界大戦末期の京都大学における「学徒出陣」に関する基礎的データ・関係資料、そして徴集された学生の聞き取りの記録から構成されています。

戦争当時、好むと好まざるとにかかわらず、学生を送り出す立場にあった大学が、これまでその実態を本格的に調査したことはなく、近年にいたりました。戦争と大学という問題を考えるうえに、六〇年以上経ってしまつた今日とはいえ、できるだけ正確に事の顛末を把握し記録しておくことは、研究上はいうに及ばず、現在さらには将来の大学を考えるうえにも必ずや役立つものと思ひます。この報告書が多くの方々に利用されんことを願つております。

なお、本調査研究にあつては、尾池和夫総長の大きなご支援をいただき、また基礎データの調査にあつては各学部の協力をいただきました。さらにはご高齢にもかかわらず多くの方々が開き取りにに応じてくださいました。ここに感謝の意を表させていただきます。

二〇〇六年七月

京都大学文書館長 藤井讓治